



# 学校だより

すべての命が輝く鎌田小学校

第五号

校長 杉村 幸恵



鎌小マスコットキャラクター  
くすのつき m.m

## 正しい登下校の仕方学びました



香芝警察署の警察官にお越しいただき、交通安全教室を行いました。これまでは『いかのおすし一人前』の合言葉をもとに、防犯(身を守る)ことを目的とした内容についての交通安全教室を春に行ってきましたが、今回は、安全な登下校に仕方について、交通ルールと合わせて指導をしていただきました。香芝署の方は、とにかく「自分の命は自分で守る」ことが大事とおっしゃっていました。

地域によっては、集団登下校を実施していないところもあるようですが、本校では、



- ① 交通事故防止の観点から
- ② 犯罪被害防止の観点から
- ③ 気象・自然災害発生時の安全確保の観点から

原則、集団による登下校を行っています。

集団にはそれぞれ、班長や副班長がおり、中心となって班を導いてくれています。中でも班長は目印となる部団旗を所持し、車両や他の歩行者に班の存在を知らせつつ一団を導く役割をします。副班長は、班の最後尾から班全体を見守って声を掛けたり、時には班長と連携して道路を横断させたりする役割を担っています。その他の班員にも役割があります。班長や副班長がそんな役割を担っていることを理解し、自分ができる精一杯のことをして登下校をすることが必要で



す。それぞれの立場の子もたちが自分の役割を自覚し、集団として力を合わせていくことが大切ですね。その結果、毎日安全な登下校が実現できるのです。それでも昨今の社会事情を見ていると、子どもたちが事故に巻き込まれることも少なくありません。しかし保護者の皆さまの見守りにも限度があります。そこで、そこを補うとともに子どもたちの頑張りを支えるお力添えとして、見守り隊の方々を手厚く、自主的に活動をしてくださっているのが、鎌田小学校校区です。

今年、子どもたちが登下校している様子を見てみると、いままで以上にそれぞれが自分の役割を意識しているように感じます。しかし、車が来ていても、自転車が出ていても、まるで構わずおしゃべりに興じている姿が見られることもあります。また、登校を見守っていたり、見守り隊の方々につき添っていただきながら下校したりしていることがあまりにも当たり前になっていく中で、自分たちで安全に登下校しようという気持ちが少ないようにも感じます。



今回の交通安全教室には、PTAから会長さまはじめ、交通安全母の会会長さま、文化研修部長さま、そして日頃から子どもたちの下校を見守ってくださっている見守り隊の方々にも御参加いただきました。このように学校と保護者、そして地域が協力して同じ視点で子どもたちに指導していくこと、見守っていくことが必要と考えます。

犯罪から身を守るための指導は、これからも随時行ってまいりますし、御家庭でも犯罪に巻き込まれないために、御家庭独自の約束事も決めていただくこともお願いしたいところです。

日も長くなり、子どもたちの帰宅時間が遅くなっていることを声掛けすることもありますし、地域の方から連絡をいただくこともあります。

学校では、五時までは家に帰るように指導をしています。御家庭での約束の参考にしてください。



★香芝市市ガリニューアルされました。★

香芝市教育委員会↓小学校情報↓市内小学校↓鎌田小学校から、カラーB4判も御覧いただけます。